

基礎工学研究科

教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー

【教育目標】

大阪大学の教育目標を受けて、基礎工学研究科は、「科学と技術の融合による科学技術の根本的な開発、それにより人類の真の文化を創造する」という理念のもと、複合学際領域の開拓および新学問領域の創成をめざし、科学から技術にわたる幅広い分野で活躍でき、我が国のみならず国際社会をも牽引する技術者、研究者の育成を教育目標としています。そのため、高い専門性と深い学識に加えて分野横断型の幅広い専門性ならびに豊かな教養・デザイン力・国際性を兼ね備え、新しい科学技術分野を切り拓く高い創造性を持った人材を育成することを目指しています

【ディプロマ・ポリシー】

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、基礎工学研究科博士前期課程を修了する学生は、以下のことが求められます。

- ・研究科に所定の期間在学し、所定の科目を履修し、所属する領域の所定の単位数を修得するとともに指導教員の研究指導を受けて作成した修士論文の審査及び最終試験に合格する。
- ・修士学位申請者は、専攻分野における研究能力、高度の専門性に加えて、教養・デザイン力・国際性を身につけており、修士学位論文が専攻分野の発展に貢献する研究内容を含み、修士論文発表会・審査会で学術研究に相応しい発表、討論ができる。

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、基礎工学研究科博士後期課程を修了する学生は以下のことが求められます。

- ・研究科に所定の期間在学し、所定の科目を履修し、所属する領域の所定の単位数を修得するとともに博士論文の審査及び最終試験に合格する。
- ・博士学位申請者は、博士学位論文の扱う学問領域と全般的な知識を有し、独立して研究を遂行できる学力に加え、教養・デザイン力・国際性を身につけており、学術内容の社会に対する貢献を論述できる能力を有し、提出された博士学位論文について論文発表会・審査会で学術研究に相応しい発表、討論ができる。

【カリキュラム・ポリシー】

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、基礎工学研究科の教育プログラムは、基礎工学の「科学と技術の融合」の理念に基づき、高度な専門性と広い視野を持って新しい研究分野を切り拓くことのできる能力を学生に付与することを目標にしています。このため、基礎工学研究科博士前期課程では、本来の専門科目である「基盤専門科目」だけでなく、近い他分野との融合をめざす「境界専門科目」、さらに新領域の開拓をめざす「学際選択科目」を設け、幅広い専門教育を行っています。また、国際性を涵養するために英語による専門教育も行っています。教養やデザイン力を涵養するために、大学院横断教育科目や博士課程リーディングプログラム科目も受講できるようにしています。さらに研究を通じた実践的な教育により、研究の推進能力、成果の説明・発表能力及び高い倫理性等を備え、主体的に課題を発見し解決する能力を有する高度な技術者・研究者を育成します。

基礎工学研究科博士後期課程では、専門分野に関する高度で深い専門的知識の修得に加えて、研究を通じた実践的な教育により、研究の企画・立案能力、推進能力、成果の説明及び発表能力を備えた高度な技術者・研究者を育成します。また、将来、国内外の様々な分野のリーダーとして活躍できる人材を育成するため、研究を通して、幅広い教養・デザイン力・国際性を涵養する実践的な教育を行っています。

単位認定については、レポート・試験等を課し、一定の成績を収めた学生に対して単位を認定しています。なお、成績優秀者は、研究科委員会での審議を経て博士前期及び後期課程の修業期間を短縮し修了することが可能です。

【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、基礎工学研究科の博士課程では、研究科の理念に共感する次のような学生を求めています。

- ・基礎力に裏打ちされた専門性ととも新しい分野を切り拓く意欲を持っている人
- ・自分の考えを説明でき、さまざまな人たちと建設的に対話する情熱を持っている人
- ・異分野との交流や国際的な交流を積極的に推し進めようとする意欲を持っている人

また、上記資質を有する優秀な人材を国内外から多様な方法により選抜することを入試の基本方針に定めています。このために、一般選抜試験に加えて、推薦入試や社会人入試などの多様な選抜試験を実施するほか、留学生向けには、英語特別コースおよび特別選抜制度を設けています。